

よ
か
と
こ
い
巡
り

神川大滝（吊り橋から撮影）

錦江町の知ってるようで知らないスポットを紹介します。
今回は、神川七滝編です。

神川地区にある神川大滝（厚ヶ瀬滝）とその横にある小滝はご存知の方も多いと思います。でも、実はその他にあと五つの滝が近くに存在することをご存知だったでしょうか。そして、新たな発見が!!

言わずと知れた神川大滝、別称を厚ヶ瀬滝と言い、大滝公園の最深部に位置しています。近くで見るとそのスケールの大きさに驚かされ、自然の偉大さを感じます。



長次郎の滝

長次郎の滝、大滝公園へ向かう道の正面に位置しており、しょうべんの滝が男性で、長次郎の滝が女性とされています。夫婦滝とでもいうのでしょうか。



中原滝（通称）

通称、中原滝、神川上の川沿いを山林に向かっていくと現れる二つの滝の左側の滝です。



小滝

小滝と呼ばれるこの滝は、大滝から100mほど手前にあります。この滝は滝つぼの周りを歩いて回ることができ、滝の裏側を見ることができる珍しい滝です。

お気づきになったでしょうか。七滝には、「七滝八滝を結び合わせる水流の前」と古い言葉があるそうです。実は、神川七滝は八つの滝が存在したのです。先ほどの言葉の意味は「七つの滝、八つの滝をひとつにする水流川」と言う意味で、今でも神川上公民館付近を水流の前と呼ぶそうです。



しょうべんの滝（通称）

通称、しょうべんの滝と呼ばれるこの滝は、大滝公園へ向かう道の左側にあります。雨の少ないときはチロチロと少量の水を落としています。

通称、後ろの滝、神川上の川沿いを山林に向かっていくと現れる二つの滝の右側の滝です。



後ろの滝（通称）



雨後の滝（通称）

通称・雨後の滝。
大滝公園内の遊具施設の処にあり、名前どおり、雨上がりの時にしか水は流れません

通称、なんこう滝、林建設事務所の向かい側にあり、昔、滝の辺りを「なんこうば」と呼んでいたそうです。



なんこう滝（通称）

